

第94回メーデー中央大会開催



4月29日(土)、東京・代々木公園において、4年ぶりに参加人数制限を設けない形で開催し、JR連合組合員と共に関東地区本部組合員が参加しました。

主催者を代表して挨拶に立った芳野中央実行委員長(連合会長)は、「2023春季生活闘争において30年ぶりの高水準での賃金改善が行われたが、給料が上がり生活水準が上がったと日本

全体で感じるためには、労働者の7割が働く中小企業で賃上げが行われなければならない。現在も交渉中の組合は多くあると思うが、最後の最後まで賃上げにこだわった交渉をお願いするとともに、スローガンに掲げた、『支え合い・助け合う社会』『笑顔あふれる未来』を実現するため、働く仲間の思いを一つに連帯して進んでいこう!」と呼びかけました。

来賓挨拶では、政府を代表して岸田内閣総理大臣、加藤厚生労働大臣、小池東京都知事より挨拶があり、メーデー宣言(案)採択後、最後に田中メーデー常任実行委員による「がんばろう三唱」で閉会しました。メーデー会場には、連合、NPO、政党などの出店等もあり、お祭りムードもある中、トルコ・シリア地震救済カンパにも取り組み、「コロナ感染対策」、「世界平和」とメーデーの意義を認識しながら帰路につきました。

その他、東北地区本部より、秋田県メーデーの報告もあり、組合員5名が参加しました。

皆様のご自宅に、「こくみん共済coop<全労済>への契約移転に関する、

「**最終のご案内**」が届いていると思いますが、必ずお読みいただき、ご不明な

点がございましたら、組合役員にご確認をお願い致します。